

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

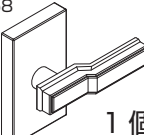
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、門扉が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
門扉を開けた状態で、必ずストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

打掛ハンドル	部品交換要領書
HH-K-18458  1個	 1枚

※取付ねじは同梱されていません。
現在取り付いている取付ねじを使用してください。

作業のために準備していただくもの

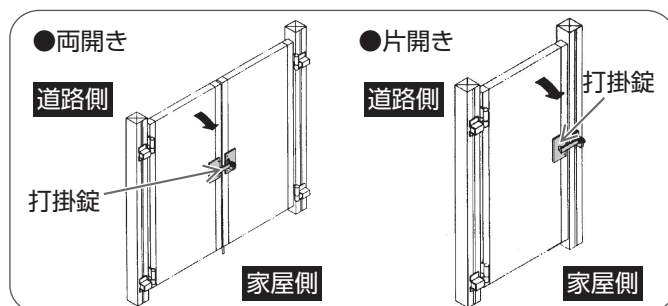
プラスドライバー
 1本

部品の取りはずし方

お願い

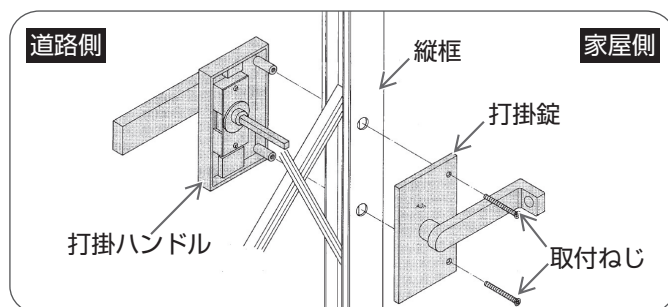
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
門扉を開けた状態で、必ずストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 門扉を開ける

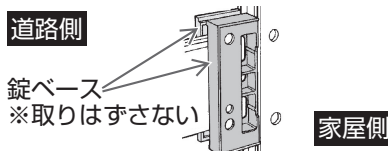


家屋側にある打掛錠を解除し、門扉を静かに開ける。
※本図は家屋側に開く内開きで説明しています。
外開きの場合は道路側に扉が開きます。

2 打掛ハンドルの取りはずし



家屋側よりプラスドライバーで打掛錠の取付ねじをはずし、打掛錠および打掛ハンドルをはずす。
※取りはずした打掛錠および取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。
※取付ねじをはずすと、打掛ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※本図はラチス格子のMP-14タイプで説明しています。他のタイプでは樹脂製の錠ベース(下図)が取り付けられていますが、取りはずさないでください。



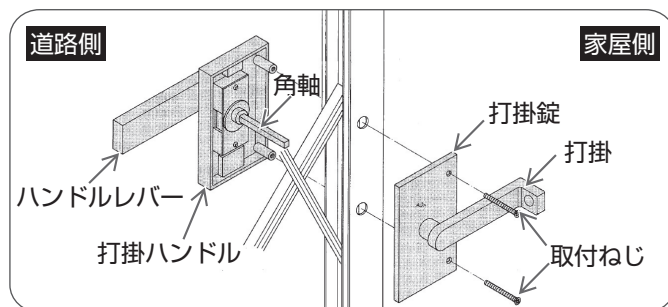
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ（とがった角）でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
門扉を開けた状態で、必ずストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

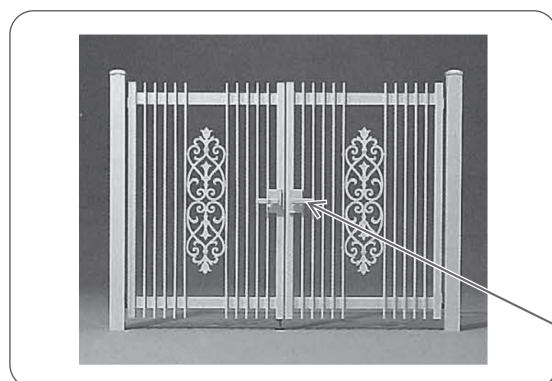
1 打掛ハンドルの取り付け



家屋側より打掛錠、道路側より打掛ハンドルを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※ハンドルレバーに対して打掛を逆方向に向けて、打掛ハンドルの角軸を打掛錠の角穴に差し込んでください。（逆勝手の場合はハンドルレバーと打掛の向きが左図と逆になります）

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ④ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

打掛ハンドル

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。